

事務事業名 交通事故被害者援護事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：72

施策：	08	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020111-07-057
基本事業：	02	交通安全対策の推進	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	交通ルールやマナーをまもっている市民の割合		担当課	危機管理課
			担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
福岡県交通遺児を支える会			福岡県交通遺児を支える会の活動に対して補助を行うもの。 【福岡県交通遺児を支える会の活動】 慰霊祭及び励ます会 レクリエーション 図書券贈呈（入学祝、クリスマス） プロ野球観戦 等						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交通事故被害者（遺児）を励まし、交通事故のない明るい社会を創る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
交通遺児の数		人	9	10	10	10			
5. コスト									
事業費		計	千円	20	20	20	20		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	812	793	802	20			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>交通遺児が1名増加している。引き続き「福岡県交通遺児を支える会」の活動を通じ交通遺児の精神的不安の軽減などを支援していく必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	なし								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
交通遺児の精神的、経済的不安を軽減するための支援は、公共性が高く、行政が行う必要がある。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
交通事故遺家族の救済、福祉構成の援助等を目的に、福岡県交通事故被害者協会として県知事の認可（昭和44年12月）を受けた社団法人。その後、昭和49年福岡県交通事故被害者援護協会、平成13年福岡県交通遺児を支える会に名称変更。									